

人見絹枝が 残したものの ～短くも志高く走り抜けた人生～



岡山市出身の女子アスリート人見絹枝さんを知っていますか？
日本人女性初のオリンピックメダリストというだけでなく、
その後も24歳で亡くなるまで女子スポーツの振興に尽力しました。
女子スポーツへの理解があまりない時代に、困難な中でもスポーツ
における男女共同参画の先陣を切った功績を、パリオリンピックが
開催される今年、一緒に振り返ってみましょう。

日時:6月15日(土)10:00～12:00

講師:角田みどりさん

**(岡山県人権政策審議会委員、
元中国短期大学教授)**

定員:30名(先着順)

費用:無料

**申込:窓口、電話、メール
で受け付けます**

人見絹枝さんの経歴

1907年(明治40年)当時の岡山県御津郡福浜村(現在の岡山市南区豊成)に誕生。岡山県岡山高等女学校(現在の岡山操山高等学校)に進学し、陸上競技に打ち込む。二階堂体操塾(現在の日本女子体育大学)卒業後は体育教師を務めた後、大阪毎日新聞の記者となる。1928年8月陸上競技への女性の参加が初めて認められた第9回アムステルダム・オリンピックに出場し、800m走で銀メダル獲得。その後は、肺結核により24歳で亡くなるまで、日本の女子スポーツの振興に尽力する。



申込メールフォーム

主催:岡山市立大元公民館・岡山市

岡山市男女共同参画推進週間(6/21～6/27)

さんかくウイーク2024では、市民の皆さんに男女共同参画への理解を深めていただくため、推進週間の前後1週間を含めた期間に、さまざまなイベントを行います。

岡山市立大元公民館 岡山市北区大元上町10-31 TEL・FAX (086)241-8526

【休館日】水曜日・祝日・年末年始 *祝日と水曜日が重なった場合は翌木曜日も

【開館時間】9:30～21:00(日曜日は～17:00)